

算数科（1年）シラバス

★ 教科の目標

数量や図形についての算数的活動を通して、基礎的な知識と技能を身に付け、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考える能力を育てるとともに、活動の楽しさや数理的な処理のよさに気付き、進んで生活に生かそうとする態度を育てます。

★ 第1学年の到達目標

具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにします。数の意味や表し方について理解できるようにするとともに、加法及び減法の意味について理解し、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにします。

具体物を用いた活動などを通して、量とその測定についての理解の基礎となる経験を重ね、量の大きさについての感覚を豊かにします。

具体物を用いた活動などを通して、図形についての理解の基礎となる経験を重ね、図形についての感覚を豊かにします。

★ 学習の予定（全114時間）

月	学習すること
4	もりにいこう 10までのかず
5	いくつといくつ なんばんめ たしざん（1）
6	（くりあがりのないたしざん） ひきざん（1） （くりさがりのないひきざん）
7	おさらい かたち
9	10よりおおきいかず
10	たしざん（2） （くりあがりのあるたしざん）
11	ひきざん（2） （くりさがりのあるひきざん）
12	たすのかな ひくのかな おさらい
1	ながさくらべ
2	おおきなかず （100までのかず）
3	1ねんのまとめ

★ 評価について

算数科では、次の4つの観点で評価します。

①算数への関心・意欲・態度

「数量や図形に親しみを持ち、それらについて様々な経験をもととする。」

→授業での様子、提出物、ノート等

②数学的な考え方

「算数的活動を通して、数理的な処理に親しむ。」 →単元テスト、授業での様子、ノート等

③数量や図形についての表現・処理

「整数の計算が確実にでき、それを用いるとともに、ものの大きさを比較したり、身近な立体を観察したり構成したりする。」 →単元テスト、プリント、ノート等

④数量や図形についての知識・理解

「数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の意味と表し方及び整数の計算の意味を理解し、量や図形についての理解の基礎となる経験を重ねている。」

→単元テスト、プリント、発表等